

伐採林における利用間伐の実施状況

1 概要

適正な森林管理と機構の収益を確保するため、丸太販売や補助金等の収入から木材の伐採・搬出コストを差し引いても収益が見込める伐採林※で利用間伐を実施

※県全体の契約地のうち伐採林は15%程度であり、収益には限りがある

2 利用間伐実績（令和5年度）

（1）実施面積：275ha / 1,355ha

（R5利用間伐）（R5に利用間伐を行った伐採林を含む契約地）

（2）農林機構収益：88,921千円

【投資経費】4,035,632千円

R5に利用間伐を行った伐採林（275ha）を含む契約地（1,355ha：伐採林・保育林・自然林の計）のこれまでの保育管理に要した経費（借入金）と利息の合計



ポイント

- ・利用間伐は、収益が見込める伐採林で実施するため、単年度では利益を確保している。
- ・ただし、**これまでの投資経費を利用間伐で回収することは困難**
（利用間伐の回数＝植栽～主伐までに1～2回）

<参考1> 契約地の森林区分と収益見込み

県政改革特別委員会の現地調査（6/28）の森林は伐採林（赤囲み）

森林区分	面積(ha)	投資経費の回収	収益見込み
伐採林	3,000	×	○
保育林	12,000	×	×
自然林	5,000	×	×
計	20,000		



<参考2> R5利用間伐事業の収支（投資経費を除く）

収入(A) 526,902千円	補助金 313,890千円	丸太販売 213,012千円	
		建築・合板用材 136,697千円	チップ用材 76,315千円
支出(B) 415,751千円	伐採搬出費 415,751千円		
	搬出材積 25,636.821m³ 〔建築・合板用材 12,250.528m³ (48%) チップ用材 13,386.293m³ (52%)〕 建築・合板用材は、木材市場や製材工場へ チップ用材は、バイオマス関連業者へ		
収支 (A - B)		収益 111,151千円	
		所有者 22,230千円	農林機構 88,921千円

所有者2：農林機構8